

### テクノビューティーサプライ

## 遠藤 照夫 会長

1978年の創業以来、化粧品OEM製造を行うテクノビューティーサプライ（本社埼玉県、遠藤真人社長、三郷工場電048-956-0865）は、化粧品の製剤開発において独自技術を多数持つ。弱酸性透明せっけんの製造も可能。その技術を応用した、固形シャンプー、シャンプー「バー」も好評だという。同社では、「親子で使える化粧品」の開発に、積極的に取り組んでいるという。同社の遠藤照夫会長に、新たな取り組みの狙いなどについて話を聞いた。

# 「親子で使える化粧品」の開発を積極化

最近の化粧品素材のトレンドに「親子」のように見ているか。

遠藤 化粧品に関する技術は進歩しており、さまざまな化粧品素材が市場には流通している。どれも魅力的ではあるが、素材・ニーズが多様化する中、誰もが納得する大ヒット化粧品素材というのが生まれにくくなっているとも感じる。

そのような市場環境の中、どのような化粧品



品の開発に取り組んでいるか。

遠藤 注目している、市場の動きとして「親子

で使える化粧品」が伸びてきていることがある。市場をウォッチしていると、「親子で使える」といった商品性を備えた化粧品の品目数が拡大傾向にあり、市場規模自体も拡大してきているように感じる。今後の発展性も含めかなり成長性を見込めるのではないかとみている。

「子ども用の化粧品」ということが。

遠藤 子ども向けの化粧品とは少し違う。子ども向けの化粧品も、市場にあるにはあるが、どうしても単価が低くなり

ぐらゐの安心・安全を備えた、大人向けの化粧品というのが今後有望だと考えている。最近はお母さんが、娘・息子に、自分の化粧品を使わせるといったことも珍しくな

くなってきている。アレルギーや敏感肌の子どもの増えたり、子どもに使うからには、さらに安心・安全を追求したいという声も多い。敏感肌だからといって、洗

すぎるのは良くない。かえってかゆみなどの原因になるケースもある。優しく洗い上げる化粧品が求められている。

れないほどの、もっちりした泡」を実感してもら

える。こうしたアイテムは、「親子で使える」といったコンセプトの化粧品にピッタリだと感じてい

る。当社はそもそも、安心・安全な自然派化粧品の開発なども得意としている。基軸となるアイテムもあることから、当社では今後、「親子で使える」

コンセプトの化粧品シリーズの開発を加速させていきたいと考えている。「親子で使えるオールインワンジェル」「親子で

ちだ。

市場規模もそれほど大きくないように思う。さらに、若年者向けの化粧品は、流行のスピードも早くついていくのが大変だ。

「子どもにも使える」

「子

使えるクリーム」など、

OEM提供を提案できる化粧品ラインアップを拡充していきたい。敏感肌は、早目にケアを始めることが重要だと指摘する声もある。

OEM供給元の販売会社とともに、「子どものころからの肌ケア」を啓蒙していくれば、「親子で使える化粧品」市場のさらなる拡大も期待できるのではないかとみている。

「濃密でクリーミーな泡」「簡単には流